
開講科目名：経営管理論研究 (4単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：野方 大輔

《授業の概要》

企業を構成する資源にはヒト、モノ、カネといくつかの要素がある。企業価値の創造には、それらが組織内で効率的に資源配分される必要があるだろう。本講義はそれらの資源の中でも、特にカネに注目し、企業価値最大化のための財務的意思決定について考える。

- 第1・2回：ガイダンス、企業の財務的意思決定の全体像
- 第3・4回：財務管理における意思決定の基準、財務的意思決定と効率的市場仮説
- 第5・6回：企業価値創造と割引キャッシュフロー法
- 第7・8回：レバレッジ効果、資本コスト
- 第9・10回：MMの定理
- 第11・12回：ポートフォリオのリスクリターン
- 第13・14回：CAPM
- 第15・16回：NPV、IRRによる投資案評価
- 第17・18回：企業の資金調達の諸形態と証券市場
- 第19・20回：配当政策と自社株買い
- 第21・22回：M&Aと財務
- 第23・24回：日本企業の財務管理の特徴
- 第25・26回：現実の企業の決算データを使った財務分析
- 第27・28回：コーポレート・ガバナンス
- 第29・30回：授業全体のまとめおよびレポート・報告

《参考書》

「現代の財務管理」、榊原茂樹・菊池誠一・新井富雄著